

事業者向け

児童発達支援自己評価表(公表)
子どもデイサービス サニー
事業所番号 2750620375

保育士 4名
児童指導員 1名
合計 5名

公表日 R7 年2月1日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5				部屋が区切れたり、もう一部屋(別室)あればいいと思います。	国の設置基準である児童一人当たりの基準をクリアした集団活動をおこなえるスペースを確保しております。死角のない指導員の目の行き届く空間となっております。また、敷地内にお庭のスペースも設備しております。
	2 職員の配置数は適切であるか	5					児童10人に対し指導員2人という国の人員配置基準に加え、加算要件を満たす人員配置を行っております。保育士、児童指導員など児童、福祉分野での経験と専門性を備えたスタッフ配置に努めております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5					段差のないフラットな施設となっております。利用されているお子さまにとって活動が分かりやすいよう構造化した活動を今後とも心掛けてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5				活動の際には、できるだけ広くスペースが取れるようにしています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1			ひとりひとりに責任感を持ってほしいです。	PDCAサイクルを心がけ職員指導にも努めております。非常勤の職員も深く参画ができるよう努めます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5					業務改善に努めます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5					ホームページ上・Instagramに結果を掲載するとともに、ご利用児童さまへ紙面での結果の配布を行います。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4			1		保護者さまの評価と社内評価のみとなっております。今後、必要に応じて外部評価の実施を検討して参ります。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			1	■研修の機会があります。 ■全職員に研修をできればして頂きたいです。	パート職員でも参加しやすいZOOM研修などを利用し、実施参ります。
適切な 支援の 提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5					利用に際しての見学・体験時に保護者面談を行いニーズを把握や行動の観察を記録させて頂き、個別支援計画を作成しています。外部でとった発達検査の結果等でも発達状況を把握し、支援計画に活かしています。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5					
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5					ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に即した支援内容を個別支援計画に設定しています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5				全職員が支援内容を統一し、把握しておかなければならないです。	原案作成時より職員が参加できるよう設定しています。支援方法について共通の理解が出来るよう職員周知の方法を引きつづき工夫して参ります。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5					サニーでは5領域をバランスよく取り入れ固定しないよう工夫しております。職員間で共通の目標をもって取り組むことを目指しています。複数の視点から検討ができるよう意見を出し合っています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5					子どもの様子に合わせ職員の役割やサポートの仕方を話し合っています。一人一人の発達の状況に応じた課題設定となるよう努めています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5					一人ひとりの発達に応じ、集団適応・社会性の視点をもちながら児童発達支援計画(個別支援計画)の作成に当たっています。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5				■朝礼にて当日の利用児童に合わせてのリスク管理や設定、その日の活動の詳細などを話し合う時間が必ず設けられている。 ■職員はもう少し責任を持って頂きたいです。	一日の流れや役割分担、支援方法、配慮が必要な点などを確認しています。子どもの様子や支援の振り返りを行い個別に記録しています。それらを次回の活動のステップアップや改善につなげています。
18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		1		■その日のうちに当日出勤者全員での振り返りは難しい。 ■その日のうちに振り返りは難しいが翌日の朝礼で情報を共有しています。(各児童の気になることや様子や動作など)	全職員が各々に責任を持って職務に当たって頂けるよう担当等を割り、職務に従事してもらうよう工夫して参ります。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	工夫している点、課題や改善すべき点など
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5					支援記録、ケア記録等、計画など記録し、反省や振り返りを行い改善につなげています。
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5					定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行っています。
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最も心ざわしい者が参画しているか	5				管理者、常勤が出席しています。	開催される場合には、児童発達支援管理責任者や管理者、担当者など適任者を選んで出席します。
	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5					センターと密に連携が取れており、助言や共有が来ています。
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/	/	/	/		
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	/	/	/		
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5				情報の共有、相互理解に努めています。	情報共有と総理解に努めています。 事業所間では不足している情報や直近の情報は、保護者様やご家族さまから聴取しています。
	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5				情報の共有、相互理解に努めています。	移行時に対象の児童が安心して移行ができるよう必要に応じて情報の提供やご共有などを行い相互理解に努めています。
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			1	■都度連絡を取っています。 ■センターと密に連携が取れており、助言や共有が来ています。 ■センターからの研修はまだ整っておられない部分もあり実施できていない。	障がい福祉人材育成・研修センター主催の研修を必要に応じて受けています。 非常勤職員でも受講しやすいZOOMなどにより研修の実施を行っています。
	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5				子ども食堂や地域のお店へ買い物へ行ったりと交流できています。 まだ、保育所や幼稚園交流はありません。	地域交流(子ども食堂地域資源の利用、フェスタへの参加など)などにより、障がいのない児童との交流の機会を設定しています。
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか			1	3	まだ参加できていません。	要請があれば参加する体制を持っています。 今年度、市の連絡会への参加を検討しております。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5				保護者さまとの情報の共有できています。	子供の状況や課題についてお話をする機会を設定し、必要に応じて個別にご相談いただけるよう取り組んでいます。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	5					現時点で、保護者さまにお集まり頂いての講義やロールプレイなどの手法を使用した研修会の実施などの支援は行っておりませんが、個別にお困りごとの対処法など、ご支援させて頂いております。
	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5					契約時に説明をさせていただいております。 またご不明な点は随時管理者より説明をさせていただいております。
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5					ガイドラインに基づいて作成し、半年を目安に定期的にモニタリングを行い、支援内容を説明し同意を得ています。
	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5				保護者さまの使用しやすいツールなどを利用し対応させて頂いております。	定期的なご面談の他、ご希望に応じてご相談を受け付けております。 また、使用しやすいツールを利用し、お気軽にご相談いただけるよう準備させて頂いております。
35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			3	2	まだ、開催することは出来ていないですが、今後開催予定と聞いています。	今年度は開催に向けて検討中でございます。
	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5					ご相談や申し入れがあった場合には、迅速かつ適切に対応するよう努めています。 苦情受付・解決担当者につきましては重要事項説明書に記載し、契約時にご説明させて頂いております。
37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5				毎月のお便りや、Instagramなどで配布・発信しています。	毎月のお便りなどを配布しています。 活動の概要などは、予約表別紙に連絡事項として掲示しております。 また、Instagramなどを活用し、活動の様子などを公開しております。
	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5					個人情報の取り扱いについては十分に留意しております。 LINE・FAX・メールなどの共有時にも伏字などにより本人の特定が出来ないよう十分に留意しております。
39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5					各ご家庭に合わせ、ご配慮させて頂いております。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

保護者への説明責任等

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	工夫している点、課題や改善すべき点など
非常時等の 対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	1		1	大きなイベントでまだご招待をすることが出来ていませんが、今後できたらと思います。	夏祭りや、流しそうめん大会などの際にご招待が出来たらと考えています。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5				職員通しで周知し、マニュアルに沿って実施しています。	職員へは事業所内研修や訓練などにより周知しています。保護者さまには、ご契約時に緊急時の対応などについてお伝えしております。今後も周知・訓練について日々改善に努めてまいります。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5				<ul style="list-style-type: none"> ■年に3回避難訓練の実施をしています。 ■大きな避難訓練の他、消防署の方や警察署の方にサニール来ていただく機会を設定する他、消防署へ訓練の依頼をし、実施。防災センターへ学習する機会を設定するなど、日常的に災害時の対応について意識が出来るよう努めています。 	大きな訓練は年に3回行っています。児童さまには、日常の活動で避難時の経路を使用した移動などが出来るよう取り組む他、消防署の方や警察署の方にサニール来ていただく機会を設定するなど、日常的に災害時の対応について意識が出来るよう努めています。職員は、児童と共に上記へ参加する他、別途説明指導を受ける等を実施しております。災害発生時の備えなどについても、備蓄品の確認など引き続き定期的に行って参ります。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5				てんかんのある児童につきましては、保護者さまより確認し、発生時の対応方法や緊急時の連絡先などのすり合わせを行っております。	保護者さまより健康状況を聴取し把握に努めています。また、必要に応じて聞き取りを行っています。今後も児童の健康上の配慮や注意点について、職員全員が常に意識ができるよう確認と周知を行っていきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5				医師の指示が必要なアレルギーの児童はいませんが、保護者さまからの除去のご希望などを一覧表で作成しており、当該児童が利用される日は朝礼時に除去の担当者を決め、十分に注意が出来るよう努めております。	食事提供はありませんが、おやつ提供や活動で使用する場合がある為、アレルギーの児童に配慮しております。現在意思の指示書が必要なアレルギーの児童の在籍はございませんが、必要に応じて、服薬・投薬・緊急搬送先などの取り決めを保護者と行って参ります。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5				ヒヤリハットファイルを作成し周知しています。	全職員への周知の他、議題に出し発生した状況の詳細の確認や改善すべき点の他、どうケースが起きた時に同じことが発生しないよう話合っております。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5					外部研修への参加の他、自事業でも研修を実施しております。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5				対象の児童はいない。	身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性があることを条件に行うことを職員の共通認識とし、行った場合は記録に残すこととしています。また、保護者さまにはそれらを契約書に記載し説明しています。※対象児童がいる場合は組織的に決定し、個別支援計画に記載する体制を準備しています。※現在、対象となる児童はいません。	